



「特別の教科 道徳」における海洋教育の単元開発

～海と日本 PROJECT～

in 大阪府公立小学校



日程：2020年11月11日（水）

主催：一般社団法人アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム

○日程

2020年11月11日(金) 45分×2コマ

○開催場所



大阪府公立小学校

○参加人数

小学3年生 35名

○イベントのねらい

ウミガメの産卵の写真や保護に取り組む人々の思いを通して、自然を守るために大切な心について考えさせ、自然やそこに生きる動植物を大切に、環境保全について関心を持とうとする心情を育てる。

○イベント内容

俳優と教員が共同して演劇的手法を使った道徳の授業の準備をし、対面形式で実践を行った。

教員は児童に教えるのではなく、児童と外部講師に伝えるために協力しながら、講師の悩みを解決しようとする形式で授業は進んでいく。

コミュニケーションゲームや、演じることの楽しさを体感できるようなプログラムを行った後に、俳優がウミガメを演じるにあたっての「ウミガメの気持ちがわからない」という悩みや「いのちをつなぐ岬」の読み物や参考画像などを使いながらウミガメのことやその周辺の人々や事柄に対しての考えや想いを深めていき、児童が感じたことを講師に伝えていく。

授業終盤ではこれまでの時間を振り返り、児童がウミガメの母親と子ガメの気持ちを考えてセリフにする時間を作った。

児童が考えたセリフを俳優である外部講師が演じたり、児童自身が演じたりしながら、それぞれのウミガメに対する想いや考えを共有していった。

○参加者の声

ウミガメは、ゴミやいろいろな物がおちっていてかわいそうだとおもったけど、子がめは思っているかもしれないけどすごいとおもいました。海は自分たちとつながっているやつがありましたが、海がなければ肉ばかり食べているとしんでしまうし、魚がいなくなったらおおくの人がなくなるので必ず海はぼくたちの生活はつながっているとおもいます。

かめだって海にごみをすててほしくないんだなあと思った。海がめがたまごをうめたあと、しいくいんの人がとっているなんてはじめてしった。

かめが1ぴきで何個もたまごをうむことがわかりました。それとタマゴを海の近くのすなにうめることもわかりました。

○写真

海と日本 PROJECT



海と日本 PROJECT



海と日本 PROJECT

